

統計書

昭和63年

人口編

世田谷区

ま え が き

この統計書は世田谷区の人口に関する基礎的統計資料を収録し、区勢の現況と推移を紹介するものです。

今日、社会の多様化に伴い、統計に対する需要と期待は国から地方へと移行し、さらに「くらし」全体にわたるきめ細かい統計が要望されています。編集にあたってはこの点を考慮し、出来るかぎり最新の資料をとり入れ、内容の充実につとめました。本書がヒューマン都市世田谷のまちづくりと区民生活向上のために、各種行政施策の参考となり、また広く区民各位、企業、学校等にご活用いただければ幸いです。まだまだ不十分な点も多いことと思いますが、今後とも利用者各位のご指導とご助言を得て、より一層の充実をはかってゆきたいと思えます。

なお、財政、社会福祉、教育など他の分野に関する統計資料については別冊の「総合編」をご利用ください。

最後に、本書の編集にあたり資料の提供に格別のご協力をいただきました関係各位に心から感謝いたします。

平成 元 年 3 月

東京都世田谷区長

大 場 啓 二

凡 例

§ 資料 本書は関係官公庁の提供による資料と当区各部課で調査収集した資料からなり、その出所については、脚注に掲げた。当区分の住民基本台帳による各表については外国人を含んでいない。外国人登録者数は別に掲げた。

§ 時 昭和64年の資料を主として収集した。「一年」とあるのは、暦年（1月から12月まで）、「一年一月一日」とあるのは、その調査日現在を示す。

§ 地区 地区の区分は、現在の支所管内別による。

◇本所地区◇

池尻、三宿、太子堂、三軒茶屋、若林、世田谷、桜、弦巻、代田、梅丘、豪徳寺、宮坂、桜丘、経堂、代沢、羽根木、大原、北沢、松原、赤堤、桜上水、上北沢、下馬、野沢、上馬、駒沢(1~2丁目)

◇玉川地区◇

東玉川、奥沢、玉川田園調布、玉堤、等々力、尾山台、上野毛、野毛、中町、上用賀、用賀、玉川、瀬田、玉川台、駒沢(3~5丁目)、駒沢公園、新町、桜新町、深沢

◇砧 地区◇

祖師谷、千歳台、成城、上祖師谷、船橋、八幡山、粕谷、給田、南烏山、北烏山、喜多見、宇奈根、鎌田、岡本、大蔵、砧、砧公園

§ 地域 地域の区分は、世田谷区新基本計画による。

◇世田谷地域◇

池尻(1~3丁目・4丁目1~32番)、三宿、太子堂、三軒茶屋、若林、世田谷、桜、弦巻、宮坂、桜丘、経堂、下馬、野沢、上馬、駒沢(1・2丁目)

◇北沢地域◇

代田、梅丘、豪徳寺、代沢、羽根木、大原、北沢、松原、赤堤、桜上水、上北沢、池尻(4丁目33~39番)

◇玉川地域◇

東玉川、奥沢、玉川田園調布、玉堤、等々力、尾山台、上野毛、野毛、中町、上用賀、用賀、玉川、瀬田、玉川台、駒沢(3~5丁目)、駒沢公園、新町、桜新町、深沢

◇砧 地域◇

祖師谷、千歳台、成城、船橋、喜多見、宇奈根、鎌田、岡本、大蔵、砧、砧公園

◇烏山地域◇

上祖師谷、八幡山、粕谷、給田、南烏山、北烏山

§ 数字のまとめ方

数字が単位に満たないものは四捨五入を原則としたので、総数と内訳の合計が一致しない場合もありうる。単位については頭注に記載した。

§ 符号の用法

「—」；皆無または該当数字なし

「…」；資料なし（不詳、途中で分類の変わったものを含む）

「0」；単位未満

「△」；減少

§ 脚注 特に説明を要する個々の事項または調査方法、計算方法等については、脚注として記載した。

§ 本書の資料についての照会は

東京都世田谷区区民部管理課統計調査係まで

電話 412-1111 内線 2206~2208

統計表目次

	頁
第1表 世帯及び人口の推移	3
第2表 東京都の世帯及び人口	4
第3表 町丁別世帯および人口	5
第4表 町丁・年齢・男女別人口	12
第5表 年齢（5歳階級）別人口の推移	323
第6表 町丁・年次別世帯及び人口	324
第7表 外国人登録人口	331
第8表 町丁別人口動態	332
第9表 人口動態の推移	353
第10表 月別人口動態	354
第11表 前住地別転入者数	354

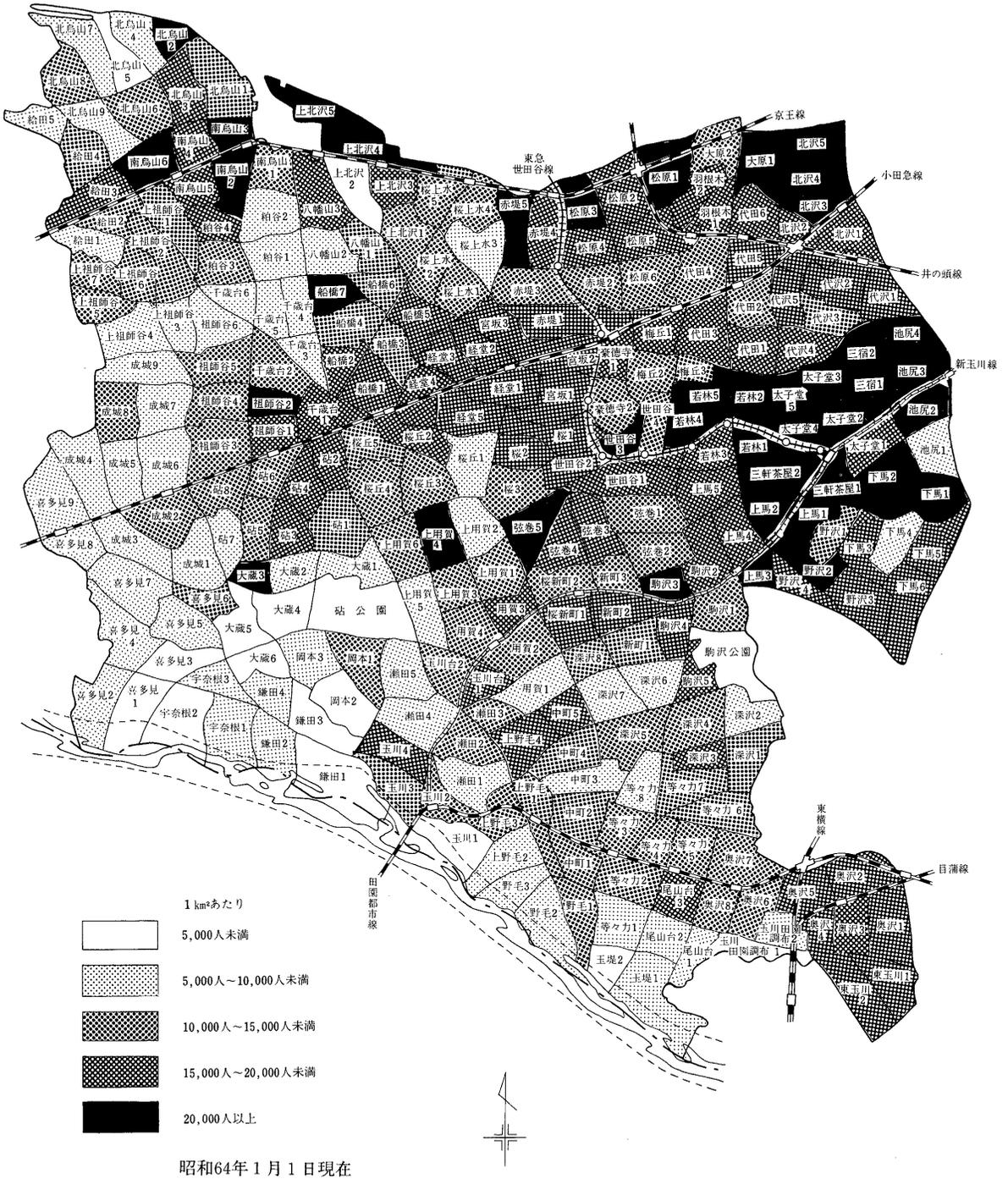
国勢調査

第12表 人口の推移	355
第13表 年齢（5歳階級）別人口の推移	355
第14表 東京都地域別人口の推移	356

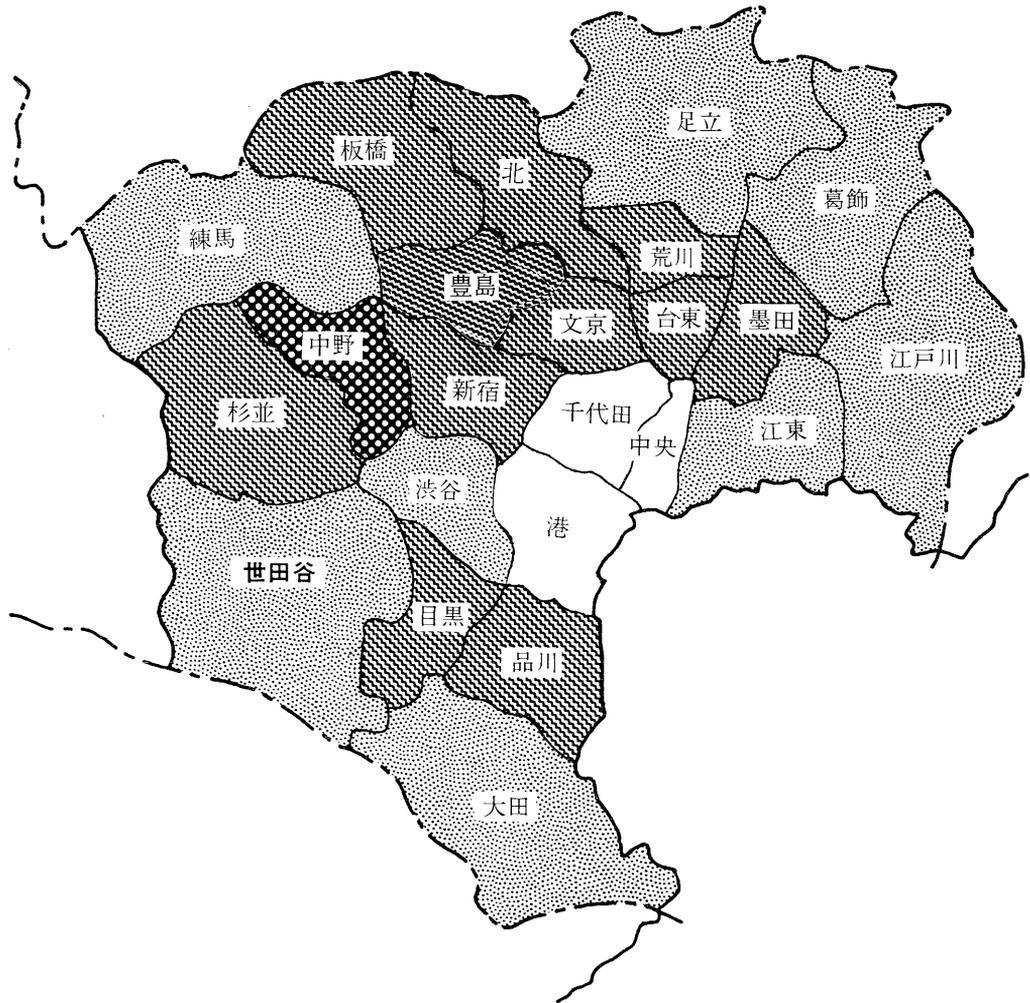
統計図表目次

第1図 世田谷区人口密度分布	1
第2図 23区人口密度分布	2
第3図 年齢別人口の推移	323
第4図 年齢・男女別人口	352
第5図 人口動態の推移	353

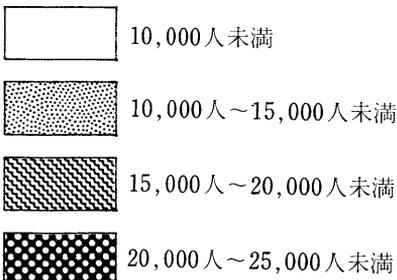
第1図 世田谷区人口密度分布



第2図 23区人口密度分布



1 km²あたり



昭和64年1月1日現在